

エコセミナーの実際・2011

自然エネルギーのプラスとマイナス

【企画ストーリー】同じテーマで連携して行ったエコロジーワークショップと対になるセミナーです。自然エネルギーという概念と海外の事例を学ぶことで全体像を把握し、太陽、森、地中という身近なトピックごとにゲストをお招きして実施しました。

【提案】この10年で自然エネルギーへの取り組みが進むと同時に、プラスとマイナスの両面にわたり取り上げられるようになりました。しかし、私たちの暮らしはエネルギー向きでは語ることができません。時代のトピックを取り上げ続けてください。

【レポート】

・講師とタイトル

10月31日（月）「自然再生エネルギーの可能性と現実」

中原准一さん（酪農学園大学教授）

12月6日（火）「太陽をエネルギーに」

新保るみこさん（ひまわりの種の会）

1月17日（火）「森をエネルギーに」

春日 隆司さん（下川町地域振興課）

2月7日（火）「地中熱をエネルギーに」

長野 克則さん（北海道大学 大学院工学研究室教授）

・場所：札幌市Lプラザ2階・環境会議室

・参加費：毎回500円（おやつ代として）

・協力：（財）札幌市青少年女性活動協会

・スケジュール

17:30 参加者の受付

18:00 挨拶・ゲストのお話し

19:30 ふりかえり

20:00 終了



【活動のポイントと注意点】

・セミナーの運営・・・ふりかえり

講習会では講師の講演を聞いた後、質疑応答の時間を設けて挙手をした方の質問にお答えして終了するパターンが一般的です。しかし、参加された方は手を挙げてまで聞きたいことが明確になっていることは少ないものです。特に、日本では「どなたか質問は？」とお聞きしても沈黙の時間が過ぎることが多くあります。その現象自体は非常に日本的で多くの方がその原因について述べておられますのでここでは述べることは差し控えますが、その時間の使い方の一つのアイデアを紹介します。

ゲストの話が終わった後、近くの方同士5～6人程度のグループを作ります。各グループの中にこれからの話を記録していただく方を一人決めてもらい、その方に紙とクリップボードと水性のマーカーを渡し、これからの話を記録してもらいます。話しは感想でも結構ですし、質問やアイデアなどを自由に話し合ってもらいます。時間は残り時間にもよりますが、10分程度で話し合ってもらい、各グループから発表し、その発表を基にゲストの方とディスカッションを繰り広げます。

エコセミナーの実際・2012

北海道の生きものと道民の暮らし

【企画ストーリー】日本の中でも身近に野性動物を感じられる北海道で、野性動物の正しい知識を身につけることで、自然と共存できる北海道の暮らし方を考えるきっかけとします。

【提案】北海道ではヒグマ、エゾシカ、アライグマなどの野生動物による被害がニュースで取り上げられます。しかし、私たちは北海道に暮らす野生動物について知らないことが多すぎないでしょうか？ 正しく生態を理解することで、賢い対処の仕方を身につけていけば、一緒に共存できるようになるでしょう。身近な野生動物を知る機会を作ってみてください。

【レポート】

・講師とタイトル

10月10日（水曜日）「ヒグマと北海道の環境」

早稲田宏一さん（NPO法人EnVision環境保全事務所）

11月6日（火曜日）「昆虫と北海道の環境」

原内 裕さん（北海道トンボ研究会理事、酪農学園大学非常勤講師）

1月22日（火曜日）「アザラシと北海道の環境」

石川 慎也さん

（えりも町産業振興課）

2月27日「アイヌと北海道の野性動物」

計良 光範さん

（ヤイユーカラの森代表）

・場所：札幌市Lプラザ2階・環境会議室

・参加費：毎回500円（おやつ代として）

・協力：（財）札幌市青少年女性活動協会

・スケジュール

17:30 参加者の受付

18:00 挨拶・ゲストのお話し

19:30 ふりかえり

20:00 終了



【活動のポイントと注意点】

・セミナーの運営・・・会場のセッティング

参加者は会場に一歩足を踏み入れた時にその場の雰囲気を感じ取ります。エコセミナーでは仕事帰りの方の参加が多く、新しい学びにチャレンジする参加者に少しリラックスした雰囲気でも過ごしてもらうことが大切です。そのための会場のセッティングは慎重に行いましょう。テーブルと椅子を整然と並べる教室形式は学校を連想させます。また、講義の後のふりかえりを行うときは椅子だけの方がグループを作りやすくなります。全体の流れを考えて会場をセッティングしましょう。

エコセミナーの実際・2013

コミュニティと環境・教育

【企画ストーリー】地域での環境保全活動に参加することが大切だと言われていますが、地域やコミュニティ自体が崩壊する中、地域の再生としてのコミュニティデザインが注目されるようになってきました。そこで、もう一度地域の環境をテーマに、教育のあり方を考えながら、環境教育について学んでみます。

【提案】環境教育を身近なコミュニティから初めてみましょう。

【レポート】

・講師とタイトル

10月30日（水曜日）「コミュニティデザインと環境教育」

山口 洋典さん（立命館大学共通教育推進機構准教授・浄土宗應典院主幹）

11月6日（水曜日）「学校と環境教育」

小澤紀美子さん（東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授）

1月14日（火曜日）「コミュニケーションと環境教育」

川嶋 直さん（NPO法人 自然体験活動推進協議会 理事）

2月19日（水曜日）「ネイチャーセンターと環境教育」

山本 幹彦さん（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティ代表）

・場所：札幌市Lプラザ2階・環境会議室

・参加費：毎回500円（おやつ代として）

・協力：（財）札幌市青少年女性活動協会

・スケジュール

17:30 参加者の受付

18:00 挨拶・ゲストのお話し

19:30 ふりかえり

20:00 終了



【活動のポイントと注意点】

・セミナーの運営・・・飲み物やBGM

会場に入るとき、視覚（会場のセッティング）だけではなく、音や匂いで人は雰囲気を感じ取ります。コーヒーやお茶の香りがしているとこれから過ごす時間をストレスなく過ごせるのではと感じさせてくれます。また、BGMはこれから始まる話と連動していると話がしやすいものです。その時に使用するカップや音響機器も注意して準備しましょう。カップはマイカップを持ってくるようあらかじめアナウンスしておくことが重要です。エコセミナーは環境教育の一環として行っています。ゲストは環境をテーマにお願いしている方々ばかりです。言っていることとやっていることが違っていれば参加者にメッセージが間違っていて伝わってしまいます。細心の注意を払って準備し、運営してください。ふりかえりで利用する紙もちろん裏紙を使いましょう。

エコサロンの実際・2011

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

幼児を森で育てるスウェーデンの「森のようちえん」

【企画ストーリー】環境への関心を育むには幼児期の脳の働きを刺激することが大切です。0歳から始まるスウェーデンの環境教育の紹介を聞きました。

【レポート】

- ・日程：2011年10月7日（金）18:00～20:00
- ・場所：大通コミュニティカフェ「KOGUMA（コグマ）」2階
- ・ゲスト：高見 豊さん（野外生活推進協会日本代表）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：日本野外生活推進協会
- ・スケジュール
 - 17:30 参加者の受付
 - 18:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 19:30 ふりかえり
 - 20:00 終了



森に木を植える・企業のCSR

【企画ストーリー】企業のCSRが注目される中、企業と一緒に森づくりをされている事例を紹介していただきました。

【レポート】

- ・日程：2011年11月7日（金）18:00～20:00
- ・場所：Event Space EDIT
- ・ゲスト：柿澤宏明さん（北海道大学大学院農学研究院 教授）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：（株）北海道アルバイト情報社
- ・スケジュール
 - 17:30 参加者の受付
 - 18:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 19:30 ふりかえり
 - 20:00 終了



【活動のポイントと注意点】

- ・会場を選ぶ

サロンらしい雰囲気を出すために公共の施設以外で場所を探すのは費用の面からなかなか難しいですね。コミュニティカフェでは飲み物をオーダーすることでお借りすることができましたし、Event Space EDITが管理している（株）北海道アルバイト情報社は森づくりをサポートされていて、テーマに賛同していただいて会場をお借りすることができました。どちらも素晴らしい雰囲気でサロンを行うことができました。

エコサロンの実際・2012

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

スウェーデンの森のようちえんと『ムッレ教室』

【企画ストーリー】昨年、同じテーマでの参加者からの要望と、この時期にスウェーデンの森のようちえん「ムッレ教室」の国際大会が兵庫県であり、その後のエクスカッションとして北海道にも来られることになり、スウェーデン、ドイツ、イングランドの森のようちえんの活動や考え方をお聞きする機会を作りました。

【レポート】

- ・日程：2012年11月27日（火）18:30～20:30
- ・場所：Event Space EDIT
- ・ゲスト：スウェーデン、イングランド、ドイツから
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：スウェーデン野外生活推進協会、（株）北海道アルバイト情報社

・スケジュール

- 18:00 参加者の受付
- 18:30 挨拶・ゲストのお話し
- 20:00 ふりかえり
- 20:30 終了



スローフードがつなぐ、食と環境

【企画ストーリー】食をテーマに美味しいものをいただきながらサロンができないかと、バルコ札幌の塚田シェフに協力していただき、スナックを食べながら環境について考える機会となりました。

【レポート】

- ・日程：2013年2月13日（水）18:30～20:30
- ・場所：Event Space EDIT
- ・ゲスト：湯浅優子氏（スローフード・フレンズ北海道）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：（株）北海道アルバイト情報社

・スケジュール

- 18:00 参加者の受付
- 18:30 挨拶・ゲストのお話し
- 20:00 ふりかえり
- 20:30 終了



【活動のポイントと注意点】

- ・テーマを選ぶ

普段から情報に敏感になりましょう。今までですと書店やショッピングモールでの流行りに気がつけましたが、最近はインターネットで情報を収集しています。

エコサロンの実際・2013

【企画ストーリー】北海道は広く、各地で環境に取り組んでいる方や団体を紹介する機会が作れないかと旭川と函館で行いました。

エコでおいしい「食のありがた」をデザインしてみよう

【企画ストーリー】食べるということは、いのちをいただいたり、作ってくれる人がいたり、自然からの恵を受けたりと様々なおかげで成り立っています。恒久的に食べるためには、何を選ぶかが大切なファクターです。今の食生活をふりかえりながら、環境負荷が少なくておいしい食のあり方を考える時間を企画しました。

【レポート】

- ・日程：2013年11月7日（木）18：30～20：30
- ・場所：旭川市市民活動交流センターCocode旭川
- ・ゲスト：新田みゆきさん（ファームレラ代表）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：NPO法人旭川NPOサポートセンター
- ・スケジュール

17:30 参加者の受付
18:00 挨拶・ゲストのお話し
19:30 ふりかえり
20:00 終了



コミュニティデザインの現場

【企画ストーリー】国際交流、ワークキャンプ、自然、食、そして教育をキーワードに地域に関わり続ける池田さんと、トルコ生まれでインドネシアに育ち、世界中を旅しながら昨年から函館にお住まいのプロのバリ舞踊家大久保ジャスミンさんをゲストに、コミュニケーションデザインや環境への関わりを話題にした時間を設けました。

【レポート】

- ・日程：2014年2月23日（日）13：30～15：30
- ・場所：一般財団法人 北海道国際交流センター(HIF)
- ・ゲスト：池田誠さん（財・北海道国際交流センター事務局長）
大久保 ジャスミンさん（インドネシア・バリ舞踊家）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：一般財団法人 北海道国際交流センター(HIF)
- ・スケジュール

13:00 参加者の受付
13:30 挨拶・ゲストのお話し
15:00 ふりかえり
15:30 終了



エコサロンの実際・2014

【企画ストーリー】エコサロンは共同で行っていただいた団体が地域で環境をテーマにした活動を継続して行っていけるように初めの一步をお手伝いできればと函館では2年続けて実施しました。

地域に根ざした環境・教育

【企画ストーリー】函館の新しいコミュニティの格として人を惹きつける蔦屋書店のイベントスペースをお借りすることができ、お店にきた人がフラット立ち寄れるオープンスペースの雰囲気で行いました。

【レポート】

- ・日程：2015年1月25日（日）14:00～16:00
- ・場所：函館 蔦屋書店
- ・ゲスト：池田誠さん（一財）北海道国際交流センター事務局長
杉本香菜子さん（NPO法人 国際協力NGOセンター）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：一般財団法人 北海道国際交流センター
- ・スケジュール
 - 13:30 参加者の受付
 - 14:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 15:30 ふりかえり
 - 16:00 終了



アウトドア環境教育

【企画ストーリー】森を利用した『教育の森』をテーマに新たに活動をスタートさせた前田一步園での取り組みを話してもらいました。

【レポート】

- ・日程：2015年3月6日（金）18:00～20:00
- ・場所：釧路市交流プラザさいわい
- ・ゲスト：酒井 賢一さん（一財）前田一步園財団）
山本 幹彦さん（NPO法人 TEC代表）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：一般財団法人 前田一步園財団
- ・スケジュール
 - 17:30 参加者の受付
 - 18:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 19:30 ふりかえり
 - 20:00 終了



エコサロンの実際・2015

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

子どもの主体的な学びと自然の力

【企画ストーリー】地域のお母さん方にこそ参加して欲しいとこのような日程にし、預かり保育を設けて実施しました。地域の団体が地域のお母さん方に話しかけるエコサロンになりました。

【レポート】

- ・日程：2015年11月21日（土）13:30～16:30
- ・場所：小樽市民センター
- ・ゲスト：安原政志さん（NPO法人 自然教育促進会代表）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：NPO法人 自然教育促進会



子どもたちの主体的な学びを実現する学びの環境

【企画ストーリー】子どもたちの主体的な学び、学びのための環境、環境教育をキーワードにしたエコサロンを実施しました。

【レポート】

- ・日程：2015年11月28日（土）13:00～16:00
- ・場所：釧路市民活動センターわっと
- ・ゲスト：境 智洋さん（北海道教育大学釧路校）
諒山邦子さん（北海道教育大学釧路校）
- ・参加費：500円（おやつ代として）



まわしよみ新聞のすすめ・コモンズデザインの参加交流型メディア遊び

【企画ストーリー】膨大な情報がオンラインで駆け巡り、社会や個人が流動的に動き回る状況の中で、記事を切り抜き互いに持ち寄るアナログのコミュニケーションの場を囲みながら、私たちの身のまわりの環境を考えてみます。

【レポート】

- ・日程：2016年3月12日（土）13:30～16:30
- ・場所：Event Space EDIT
- ・ゲスト：山口洋典さん
（立命館大学共通教育推進機構准教授・浄土宗應典院主幹）
- ・参加費：500円（おやつ代として）
- ・協力：green drinks Sapporo、札幌エルプラザ



エコサロンの実際・2016

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

自然の中での子育て・教育・ライフスタイル

【企画ストーリー】環境への関心を育むには幼児期の脳の働きを刺激することが大切です。0歳から始まるスウェーデンの環境教育の紹介を聞きました。

【レポート】

- ・日程：2016年9月27日（火）9：30～11：30
- ・場所：当別町総合保健福祉センター・ゆとろ
- ・ゲスト：Maria Park（レクサンド市義務教育学校部長）
Linda Karlsson（レクサンド市幼児教育部長）
Maria Granath Nilsén（レクサンド市幼稚園長）
Helene Hälgebo（レクサンド市幼稚園長）
Staffan Myller（レクサンド市自然環境部）
- ・参加費：無料
- ・スケジュール
 - 9:00 参加者の受付
 - 9:30 挨拶・ゲストのお話し
 - 11:00 質疑応答
 - 11:30 終了



アウトドアで教育・環境・ライフスタイル

【企画ストーリー】広報にSNSを今までも利用していましたが、今回からチラシの配布をやめてインターネットだけの広報として、紙の使用を削減するようにしました。

【レポート】

- ・日程：2017年2月28日（火）18：00～20：00
- ・場所：札幌市Lプラザ環境研修室1
- ・ゲスト：久保田康雄さん（国立日高青少年自然の家所長）
- ・参加費：無料
- ・協力：札幌市環境プラザ
- ・スケジュール
 - 17:30 参加者の受付
 - 18:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 19:30 ふりかえり
 - 20:00 終了



【活動のポイントと注意点】

- ・時間を選ぶ

対象によって時間や曜日を変えましょう。これからのオンラインでの開催を考えると、会場までの移動が必要なくなりましたので、夕方の時間での開催も家に帰ってから、夕食を済ませてからということも可能になりました。

エコサロンの実際・2017

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

Play and Learn Outdoor Classroom

【企画ストーリー】当別町はスウェーデンレクサンド市と姉妹都市として30年にわたって交流をしています。そこで、スウェーデンの自然の中での教育を地域の方々に知ってもらう目的でエコサロンを行いました。また、当別町にあるスウェーデン交流センターの好意で会場もお貸しいただきました。

【レポート】

- ・日程：2017年11月13日（月）10：30～12：00
- ・場所：一般財団法人スウェーデン交流センター
- ・ゲスト：Mats Wejdmark（ニュネスハムン自然学校代表）
Robert Lättman-Masch（ニュネスハムン自然学校）
- ・参加費：無料
- ・協力：ニュネスハムン自然学校
- ・スケジュール
 - 10:00 参加者の受付
 - 10:30 挨拶・ゲストのお話し
 - 11:30 ふりかえり
 - 12:00 終了



学びの環境から創る環境教育

【企画ストーリー】環境の何を学ぶかではなく、どこで、どのように学ぶかという学び方を学ぶ考え方、手法、アイデアをゲストの豊富な経験から語っていただき、これからの環境教育の方向性を一緒に考えてみました。

【レポート】

- ・日程：2018年3月11日（日）14：00～16：00
- ・場所：札幌市Lプラザ環境会議室
- ・ゲスト：小澤紀美子さん（東京学芸大学名誉教授、元環境教育学会会長）
- ・参加費：無料
- ・協力：札幌市環境プラザ
- ・スケジュール
 - 13:30 参加者の受付
 - 14:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 15:30 ふりかえり
 - 16:00 終了



エコサロンの実際・2018

【企画ストーリー】最近、多くの方々から『自然の中で子どもをのびのび育てたい』と良く聞くようになり、「森のようちえん」という名前も普通に聞くようになってきました。そこで、子育て先進国でもあるスウェーデンの自然を活かした子育ての実際やこれまでのTECで行ってきた森のようちえんの話、そして、最近ヨーロッパで注目されている学校や幼稚園の教室から飛び出した学びを紹介するエコサロンをすでに森のようちえんを実践されている千歳市と札幌市の団体と一緒にエコサロンを開催することにしました。

森のようちえんと学び

【レポート・千歳】

- ・日程：2018年11月29日（木）10:00～12:00
- ・場所：北ガス文化ホール
- ・ゲスト：山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティ代表）
- ・参加費：無料
- ・スケジュール
 - 9:30 参加者の受付
 - 10:00 挨拶・ゲストのお話し
 - 11:00 ワークショップ
 - 11:45 ワークショップ
 - 12:00 終了



【レポート・札幌】

- ・日程：2019年2月27日（水）10:15～12:15
- ・場所：滝野自然学園
- ・ゲスト：山本幹彦・山本 草（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティ）
- ・参加費：無料
- ・協力：（公財）さっぽろ青少年女性活動協会
- ・スケジュール
 - 9:45 参加者の受付
 - 10:15 挨拶・ゲストのお話し
 - 実習：野外で授業
 - 12:00 ふりかえり
 - 12:15 終了



【活動のポイントと注意点】＊オンラインで開催する場合のポイント

・COVID-19感染対策とオンライン（その2）

オンラインでの利用では通信障害に注意が必要です。人数が多いと全員のカメラをONにしていると通信障害が出やすくなり、プレゼンテーションの画像や音声途切れてしまうことがあります。その場合、始まってからカメラの利用のタイミングを説明しておき、プレゼンテーションの時はカメラをOFFにするように案内すると問題は発生しませんが、顔が見えない画面に話かけっていると反応がなく、話をする立場になるとなかなか辛いものがあります。オンラインでも内容に合わせての定員の設定が重要になります。

エコサロンの実際・2019

【企画ストーリー】気軽に立ち寄り、今話題のテーマを環境教育と関連させながら考える機会としてのエコサロン。森をキーワードに2つのテーマで企画しました。

遊びながら野外で学ぼう

【レポート・千歳】

- ・日程：2020年1月14日（火・祝）10:00～12:00
- ・場所：支笏湖市民センター2階（支笏湖支所）
- ・ゲスト：山本 幹彦（NPO法人 TEC代表）
- ・参加費：無料
- ・協力：森のようちえん といとい自主保育
- ・スケジュール
 - 9:30 参加者の受付
 - 10:00 挨拶・自己紹介
 - 10:30 講義：野外で授業の実際
 - 11:30 ディスカッション
 - 12:15 終了



【レポート・札幌】

- ・日程：2020年2月19日（火）18:30～20:30
- ・場所：札幌市Lプラザ環境会議室
- ・ゲスト：山本幹彦・山本 草
(NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー)
- ・参加費：無料
- ・協力：札幌市環境プラザ
- ・スケジュール
 - 18:00 参加者の受付
 - 18:30 挨拶・自己紹介
 - 講義：野外で授業
 - 20:10 ふりかえり
 - 20:30 終了



【活動のポイントと注意点】＊オンラインで開催する場合のポイント

・COVID-19感染対策とオンライン（その3）

オンラインではzoomを利用していますが、チャットとい機能を活用すると双方向のやりとりにより便利です。ゲストの話を聞きながら、わからない点や質問があった時、リアルタイムでチャットに書き込んでもらうのです。その方が反応があってわかりやすく、はじめにチャットの練習をしてから話を始めるようにしましょう。

オンラインは単にビデオを流すことではないということを頭に置き、オンラインという方法を使って、今までできなかった内容をどんどん考え出していきましょう。

しばらくCOVID-19感染予防を最優先にしながら学びの場を作っていかなければならない状況が続きます。また、このオンラインの試みは私たちの移動という不便さと移動に伴うCO2の排出抑制を可能にしてくれました。また、オンラインは国境を簡単に飛び越えることができ、国際的な交流が簡単にできます。いろいろとSDGsと相性の良いオンラインを活用した環境教育プログラムの模索が必要です。

北海道・環境の村実践マニュアル Ver.2

発行：北海道環境生活部環境局・環境政策課企画調整係

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

TEL 011-231-4111（内線24-222）

制作：特定非営利活動法人（NPO法人）当別エコロジカルコミュニティー（TEC）

〒061-0206 北海道石狩郡当別町川下754

TEC : 0133-22-4305

Email: tectec_ee@yahoo.co.jp

<http://tectec-ee.wix.com/website>

FaceBook: <https://www.facebook.com/ecological.community>